

## 第2回 建設ディレクター育成 5月19日から講座開講 非正規ら雇用機会を支援

(一社)建設ディレクター協会は、就職氷河期世代向けの短期資格等習得コース事業「第2回建設ディレクター育成コース」を実施する。5月19日～6月18日の期間で予定しており、4月20日まで申し込みを受け付けている。

事業は、厚生労働省が実施する就職氷河期世代向け就業支援事業のひとつとして、正規雇用を目指す求職者に工事書類作成業務に必要な知識を習得させ、建設産業での新規雇用につなげるのが狙い。

建設ディレクターは、オフィスの事務員らが現場担当者の書類作業などをサポートし、現場の長時間労働軽減につなげる新しい職域であり、建設ディレクター協会が普及・拡大に努めている。

対象は、現在、無職または非正規の就業者。受講者は、無料で建設業の基礎知識が習得できるほか、建設ディレクターと建設業経理事務士4級が取得でき、建設企業への就職サポートが受けられる。

受入企業側では、正社員化を検討しているパート、アルバイトのスタッフに無料で専門知識を学ぶ講座へ参加させることができ、新規雇用時に建設基礎知識を学んだ人を雇用する機会ができ、受講生と受入企業双方にメリットがある事業として注目されている。

訓練期間は、5月19日～6月18日までで訓練日数は20日間。WEB講義になるため、オンラインに接続できるパソコンを各自で用意。4時間程度の講義になる。訓練場所は、京都経済センター(下京区四条通室町東入函谷鉾町78)。

訓練カリキュラムは、就職活動スタートアップ・キャリアデザイン理論、建設業の動向と社会的役割、建設業の基礎知識、安全衛生教育、施工体制・工事の流れ・専門用語、個別キャリアコンサルティング、施工管理の基礎、工事書類作成(施工計画書・安全管理)、工事書類作成(写真管理・図面)、組織に必要なコミュニケーション、初めての積算、建設業界の研究ほか、インターンシップ・企業見学を予定。

申し込み・問い合わせは、(一社)建設ディレクター協会(Tel090・8563・9148)まで。